

1. 本園の教育・保育目標

- 阿弥陀様を拝み、ありがとうと素直に言えるこども
- 人の話をよく聞き、自分で考え行動するこども
- 心身ともに健康で元気に遊ぶこども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

令和5年4月に幼保連携型認定こども園となり、0～1歳児を受入れ、保育の内容に関する全体的な計画を作成した。各年齢の目標、養護、教育及び保育の内容、食育、家庭との連携、安全教育など、それぞれの年齢の発達を踏まえながら立案している。全体計画に基づいた保育、環境構成を大切に、乳幼児一人一人の発達を捉えながら保育実践を進めていく。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	評価	取組み状況
教育・保育目標にむけて具体的な内容や取組みについて考える	B	特に乳児一人一人の姿のみとりや体の動き・粗大運動微細運動などについて理解し、記録をもとに職員間で話し合いを行ってきた。子どもが伸びようとしている力を大切に受け止めて、適切な保育環境について検討し環境作りに努めた。
教育・保育の質向上や同僚性を高めることを目的とした園内研修を充実させる。	A	今年度から幼保連携型認定こども園となり、乳児・幼児クラスの職員シフト作成や勤務体制の変化など、保育教諭を取り巻く環境がより複雑になったことで不安や疑問が残る場面もあった。しかし、一つ一つ丁寧に具体的な内容について話し合い、確認し合う事で解消してきた。遊びや活動をウェブ図で表し、環境構成や子どもの発想がより具体的に理解できるようになった。新たな環境の中で工夫している場面もあり、保育の良さが表れてきたことも認め合ってきた。 子どもたちと職員と共に、新園舎の環境をどのように活かしていくのか、楽しく工夫された保育実践を今後も進めていきたい。
園生活をより良くするための環境について職務分担の中で計画立案実践の体制を整えていく。	B	今年度は特に安全教育・避難訓練計画に重点を置き、実施してきた。今後は実践の振り返りと内容の見直しを進めていく。次年度は保健業務、食物アレルギーの対応、発達支援等についてより具体的に進めていく。

(A:十分成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 今後取り組む課題

課題	具体的な取組み方法
ICTシステムの活用	登降園管理、メール、連絡帳等でICTシステムを運用している。また、園だより・クラスだより等も保護者・家族が共有出来るようにICTで配信している。今後も活用内容を広げていく。
指導計画の実践と振り返り	遊びや活動の工夫、エピソード記述などを通して環境構成やコミュニケーション力を高めていく。